

ひとわざ(一技)名: 10cm～50cmサイズの超小型人工衛星の開発設計

1. 概要(200字目安)

信州大学工学部では、2013年度に40cm立方、35kgの超小型人工衛星「可視光通信実験衛星」を打上げます。長野県内の中小企業との連携を求めています。

1. 10cm立方のサイコロ型の超小型人工衛星は手作りで行う
2. 50cm立方程度の大きさまで、大学生や中小企業の技術者が一緒になって開発可能
3. 人工衛星の設計から開発、実装、運用までお手伝いします。

写真・図(要点説明)

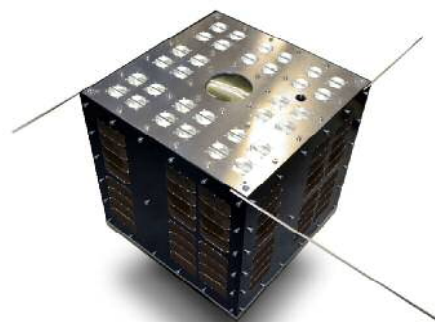
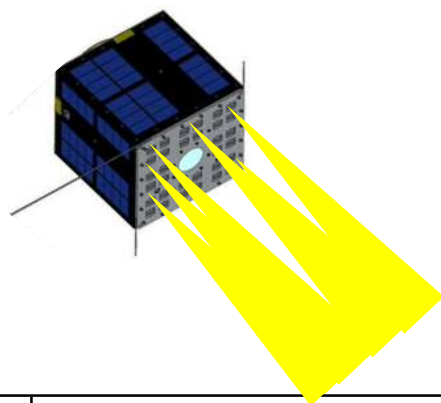
現在開発中の信州製人工衛星「可視光通信実験衛星ShindaiSat」

ShindaiSatの特長

大型衛星にも採用されている高度な3軸制御方式の採用  
 世界初のLED可視光通信実験を行う  
 信州大学が開発している新しい材料の利用

新しい応用が広がる長距離可視光通信

ShindaiSatの開発により長距離可視光通信技術が習得  
 LEDの制御・変調・復調技術、最適な光学系の設計、



2. 企業概況

会社名	信州大学	代表者名	山沢 清人
		窓口担当	産学官連携推進本部
事業内容	研究開発・地域貢献	URL	<a href="http://www.shinshu-u.ac.jp/">http://www.shinshu-u.ac.jp/</a>
主要製品			
住所	〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1		
電話/FAX	0263-37-3527 / 0263-37-3049	E-mail	ken-sui@shinshu-u.ac.jp
資本金(百万円)	設立年月日	売上(百万円)	従業員数

特記事項(①特許取得・各種認証等取得状況②提供できる価値及び応用分野③医療分野参入(取引)実績 他

信州衛星研究会を設立(2011年7月)。個人、法人の会員による、情報交換、技術開発、人工衛星の開発、将来の航空宇宙技術の発展に寄与できる技術、人材の育成(研究会への参加は自由。会費制)